

令和2年 4月～6月期 作州津山商工会景況調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120事業所

(内訳)

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	
27	31	23	39	120
22.5%	25.8%	19.2%	32.5%	100.0%

◎全 体

新型コロナウイルスの影響が大きく全業種でDIは大きくマイナスとなりました。特に売上・採算・資金繰りにおいて極めて厳しい結果となっており、今後の見通し(令和2年7～9月)も引き続き厳しい状況です。

～天気図の指標～

状況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
DI	30～	10～	0	-10～	-30～

製造業

状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り	来季予想
天気図						
DI	-40.7	-25.9	-48.1	11.1	-7.4	7.4

建設業

状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り	来季予想
天気図						
DI	-48.4	-3.2	-25.8	22.6	-29	9.7

小売・卸業

状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り	来季予想
天気図						
DI	-69.6	-17.4	-65.2	0	-39.1	-21.8

サービス業

状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り	来季予想
天気図						
DI	-64.1	-10.3	-51.3	15.4	-38.5	7.7

景況が好転・増加した理由

- 1位 販売額・受注件数の増加
- 2位 民間需要の活発化
- 3位 既存の同業者間の競争減少
- 4位 製品・サービスの市場への適合

景況が悪化した理由

- 1位 民間需要の停滞
- 2位 販売額・受注件数の減少
- 3位 新型コロナウイルスの影響による受注減
- 4位 人手不足・確保難

調査結果の概要

<全体>

新型コロナウイルスの影響が大きく全業種でDIは大きくマイナスでした。特に売上・採算・資金繰りにおいて極めて厳しい結果となりました。今後の見通し（令和2年7～9月）も引き続き厳しい状況となっています。

<製造業>

売上DIは▲40.7、採算DIは▲48.1、資金繰りDIは▲7.4となりました。今後の見通し（令和2年7～9月）では売上DIでは若干の回復見込みにあります。

<建設業>

売上DIは▲48.4、採算DIは▲25.8、資金繰りDIは▲29.0となりました。今後の見通し（令和2年7～9月）では資金繰りでさらに悪化懸念にあります。

<卸・小売業>

売上DIは▲69.6、採算DIは▲65.2、資金繰りDIは▲39.1となりました。今後の見通し（令和2年7～9月）では採算・資金繰りでさらに悪化懸念にあります。

<サービス業>

売上DIは▲64.1、採算DIは▲51.3、資金繰りDIは▲38.5となりました。今後の見通し（令和2年7～9月）では採算・資金繰りでさらに悪化懸念にあります。

<業種別業況>

売上・採算では卸小売業、サービス業で特に悪化しています。仕入では製造業、卸小売業で特に悪化しています。

<売上・利益>

売上では卸小売業、サービス業で特に小規模性が鮮明です。利益・所得面では業種での大きな差はありません。

<業況変化の要因>

販売や受注が増加したことで業績が向上している事業者があります。ただし、多くは新型コロナウイルスの影響により販売・受注減が大きく影響しています。